



保健・安全だより

令和4年9月9日
星ヶ丘二葉園

9月に入りまだ、暑い日が続いていますが、園庭では、夏の間子ども達の歓声が聞こえていたプールが終わり、変わって体操着姿の幼児組のお友だちが見られ、夏から秋へのバトンタッチを感じます。

今年度は、第7波の新型コロナウイルスの感染が全国的に拡大し、二葉園でも出来るだけ感染拡大せずに園生活を送れるよう検討を重ねてきました。今後は、秋の幼児組運動会や遠足等の行事がありますが、状況を見ながら判断してまいりたいと思いますので、ご理解の上ご協力よろしくお願い致します。

【令和4年前期怪我等の状況】

- ① 5歳児男子 他児と鬼ごっこをしている際、公園に設置してある水道場付近の段差に
(5月) つまづき転倒水道に額をぶつける。病院で受診する。
— 中央病院受診 1針縫う —
- ② 0歳児男子 0・1歳児クラスで自由遊びの時足がもつれて転倒、歯肉から出血。歯科で
(5月) 受診する
— 古川歯科医院 切り傷様子を見る —
- ③ 2歳児男子 絵本をかごに片付ける際、しゃがみ込んだ時に激しく泣いた。外傷は、
なかったが立たせると、左足に力が入らない様子だったので整形外科で
受診する。
— まきの整形外科 左足脛骨骨折 —

・以上の事例について職員全体で事故防止の検討をした結果下記のようにになりました。

- ① 集団遊びを始める前に公園の状況確認し、子ども達にも伝える。。
- ② 周囲に玩具が多く出ていたので、使わない玩具は、すぐに片付ける様にする。
夕方でも体も疲れていた事も考えられるので、静かに遊べる環境を作る。
- ③ 対策を検討したが、本を片付ける際、周りに子ども達がいなかった事や、職員がそばで見
ていたが普通にしゃがみ特にひねった様子も見られなかった事で検討が難しかったが、職
員が子どもをよく見渡せる位置にいた事で状況確認がスムーズだったので、これからもよ
り子ども達の行動観察をしっかりしていく。

【令和4年度 感染症状況】(4月～8月)

病名	人数	病名	人数
手足口病	6名	RSウイルス感染症	2名
ヒトメタニューモウイルス	1名	溶連菌感染症	1名
コロナウイルス	16名 (ほとんど家庭内感染でした。)		

※ヒトメタニューモウイルス感染症

あまり聞きなれない名前の感染症ですが、2001年に発見された春から初夏にかけて流行するウイルスです。感染経路は、飛沫・接触感染になります。おもな症状は、鼻や咳、たん等いわゆる風邪の症状です。年齢が小さいほど重症になりやすい傾向がある事から、RSウイルスと同じ特徴を持っています。1歳児未満の子どもは、重症になりやすく、炎症が細い気管支にまで及び『細気管支炎』という状態になる事もあります。予防法は、基本的に風邪と同じです。鼻水や唾液に含まれるため、よく手を洗うようにして下さい。

※今年は、とびひやプール熱の発病がほとんど見られませんでした。また、猛暑のためか虫刺されの被害も少なかったようです。これから涼しくなってくるので虫刺されには、気を付けていきたいですね。